

海がない街善通寺からもアートを発信します

瀬戸内国際芸術祭開催にちなみ5月9日(黒板の日)から黒板アート作品を展示

黒板の製造販売、教育環境整備を行う(株)いわま黒板製作所(善通寺市与北町 1131 代表取締役社長/角野幸治)は、瀬戸内国際芸術祭(以下、瀬戸芸)春会期中の5月9日から5月18日までの10日間、本社敷地の一部を開放し、黒板アート作品の展示を行います。期間中は、イベント等で人気の大型黒板や、チョークで落書きできる車「コクバンカー®」の展示も行い、ご自由にアート鑑賞や落書きなどをお楽しみいただけます。

■瀬戸内国際芸術祭における善通寺市といわま黒板製作所

瀬戸芸は瀬戸内の島々を中心とした、岡山香川の海沿いの自治体が舞台となっています。一方で内陸部にある善通寺市は、毎回芸術祭に関われずにいます。

そんな中、善通寺第一高等学校デザイン科の黒板アートを使った動画作品が2020年に国際的な賞を受賞したことで、一躍注目を集めるようになりました。さらに市内に「岡山香川唯一の黒板専門メーカー」である、いわま黒板製作所があったことで、黒板アートを新しい観光資源にしようという取り組みがはじまりました。「瀬戸芸をターゲットに来県された方に、善通寺市にも足を運んでいただきたい」そんな想いで、弊社にできることは何かと考え、今回のイベントを企画しました。

■イベント開催は5月9日「黒板の日」から

5月9日は「こ(5)く(9)ばん」の語呂合わせということと、アメリカからはじめて黒板が輸入されたのが1872年(明治5年)5月頃だということから、「黒板の日」と認定されています。また現在、瀬戸芸の春会期中ということで、アートに関連した弊社ならではのイベントを行うことになりました。

今回は「善通寺市まちなか黒板アート事業」で2020年度まで展示されていた作品のうち、5点のレプリカを展示します。また、大型の落書き黒板と当社にしかない「コクバンカー®」の展示もありますので、普段はあまりできないチョークでの落書きをお楽しみいただけます。

《展示に関して》

期間:2022年5月9日(月)~5月18日(水)の平日

9時~17時まで

場所:いわま黒板製作所本社 北側倉庫前広場

対象:どなたでも

参加費:無料

内容:黒板アート作品展示

大型黒板・コクバンカー®への落書き体験





お問合せ先 いわま黒板製作所

TEL 0877-62-1631

FAX 0877-62-6021

担当 / ^{まみのこうじ}角野幸治

Email iwama@lime.ocn.ne.jp

【会社概要】本社:〒765-0040 香川県善通寺市与北町 1131 /
事務所:岡山 / 創業:1936年 / 創立:1955年 / 資本金:1,000
万円 / 従業員数:約20名 / 事業内容:黒板、ホワイトボードほか教
育施設の設備・備品一式の製造・販売・施工

